

公立病院改革プランの概要

団 体 名		熊本県天草市						
プ ラ ン の 名 称		市立病院改革プラン						
策 定 日		平成21年 3月23日						
対 象 期 間		平成21年度～平成24年度						
病院の現状	病 院 名	天草市立栖本病院						
	所 在 地	熊本県天草市栖本町馬場2560番地14						
	病 床 数	70床(一般病床24床、結核病床46床)						
	診 療 科 目	内科、呼吸器科						
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<p>栖本町及び倉岳町と、その周辺地域における初期医療及び在宅医療を担う診療施設として位置づける。</p> <p>引き続き常勤医師を確保することで、地域で必要とされる診療科を維持し、地域住民に身近な病院として、関係医療機関との連携を図っていく。</p>						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<p>一般会計からの繰入金については、原則として、病院事業に対する国の繰入基準に基づくものとし、その主な内容は以下のとおりとする。</p> <p>特殊で採算をとることが困難であるが、地域の医療水準の向上のため行政が担うべきものとして実施する医療に係る収支不足分(結核医療)</p> <p>病院の建設改良に要する費用の一部として、企業債の元利償還に係る費用の一部(起債年度により1/2または2/3)</p> <p>病院または病院職員の研究研修に要する費用や、共済追加費用等の特定費用の一部</p> <p>病院経営上、採算をとることが困難な地域に位置する不採算地区病院の病院運営経費の一部</p>						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備 考
	経常収支比率(%)	105.3	99.4	82.0	100.8	99.9	100.1	
	医業収支比率(%)	70.1	65.4	57.2	73.8	75.7	77.8	
	実質収益対経常費用比率(%)	65.3	61.4	54.3	69.4	71.5	73.6	
	病床利用率(%)	31.7(80.4)	31.7(75.9)	34.0(82.5)	35.0(85.4)	56.4(86.7)	57.5(88.8)	()内は結核病床を除く一般病床のみの数値
	患者1人1日あたり入院収益(円)	16,678	16,490	16,617	16,700	16,790	16,790	
	患者1人1日あたり外来収益(円)	4,169	4,160	4,210	4,250	4,300	4,300	
	職員給与費比率(%)	92.8	97.7	120.7	82.7	81.6	79.1	
	材料費比率(%)	11.9	12.5	11.9	11.7	11.3	11.2	
上記目標数値設定の考え方		<p>医業収益の増収策に取り組み、計画期間中に実質収益対経常費用比率の向上を図る。</p> <p>また、病床利用率については、平成23年度より結核病床を46床から20床へ削減することとして計画。</p> <p>職員給与費の見直しについては、平成21年度から調査・検討し、実施内容を具体化して計画数値へ反映する。</p> <p>任意項目は、医業活動の収益性を反映する指標を選択した。</p> <p>(経常黒字化の目標年度:平成24年度)</p>						

					団体名 (病院名)	熊本県天草市 (栖本病院)	
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)	19年度 実績	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備 考
1日平均入院患者数(人)	22.2	22.2	23.8	24.5	24.8	25.3	
1日平均外来患者数(人)	63.9	64.0	65.0	65.5	67.0	67.0	
平均在院日数(日)	34.0	33.0	33.0	32.0	31.0	30.0	
紹介率(%)	1.2	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	
数値目標達成に向けての 具体的な取組及び実施時期 に係る計画	民間的経営手法の導入	プロパー職員の採用検討。					
	事業規模・形態の見直し	平成22年度より地方公営企業法の全部適用を導入し、企業としての経済性を発揮した経営改善を推進するとともに、職員のコスト意識と経営参画意識を高め、一丸となって経営改善に取り組む。 平成22年度から24年度までの3年間は、全部適用による集中的な改革に取り組み、この総括と今後の医療環境の動向を踏まえ、本改革プランの目標達成が困難であると認められる場合には、指定管理者制度の各病院への導入等、更なる経営形態の変更に向けて取り組む。 当院は46床の結核病床を有しているが、患者数が減少しており、病床利用率は非常に低い状況にある。このため、同じく市内で結核病床を有している天草中央総合病院の動向を見極めながら、結核病床の削減・廃止または他用途への転換を含めて検討していく。					
	経費削減・抑制対策	病院経営に適した給与体系の検討と導入(平成21年度から22年度にかけて調査・検討を行い、平成23年度からの導入を目指す)。 各種業務委託内容の点検及び見直し。 市立病院間の効果的な共同購入の実施と在庫管理の徹底。 ジェネリック医薬品採用の検討。 経営セミナーや院内経営会議の実施による職員のコスト意識の醸成。					
	収入増加・確保対策	地域医療支援病院をはじめ、関係医療機関との病病連携や病診連携の推進(患者紹介率の向上、平均在院日数の短縮化)。 ベッドコントロールの徹底。 糖尿病等の専門医療の充実など、地域のニーズに即した特長ある医療の推進。 疾病予防と在宅復帰支援機能の強化。					
	その他						
各年度の収支計画		別紙1のとおり					
その他の 特記事項	病床利用率の状況	17年度	35.10%	18年度	26.90%	19年度	31.70%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	当院は46床の結核病床を有しているが、患者数が減少してきているため、近年の結核病床は一桁台の利用率で推移している。 このため、同じく市内で結核病床を有している天草中央総合病院の状況を見極めながら、病床数の削減・廃止または他の用途への転換などを含めて検討していく。					

団体名
(病院名)

熊本県天草市
(栖本病院)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	天草医療圏内 公立病院：上天草総合病院(上天草市195床)、天草中央総合病院(天草市174床) 公的病院：苓北医師会病院(苓北町60床)、天草地域医療センター(天草市200床)	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	第5次天草地域保健医療計画 ・医療機能の分担と連携ができるような地域医療連携室の設置等の環境づくりと住民や患者に対し適切な医療情報を提供することがそれぞれの医療機関に求められている。 ・無医地区や島しょ、へき地をかかえており、交通の便の悪い地域の日常診療、休日夜間の診療、救急患者の診療、搬送体制の整備が必要。 ・医療資源の乏しい地区の医療を公立病院が担ってきたが、公的医療機関の役割の見直しと再編が課題。 ・地域全体を見ると、慢性的な医師不足状況にあり、今後の人口減少、過疎化、高齢化の進展に備えた中・長期的な医師確保対策が必要。	
経営形態見直しに係る計画	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	<時期> 平成 年 月 日	<内容> 天草市地域医療ネットワークの構築 地域の公的医療機関や民間医療機関との役割・機能分担を明確化し、引き続き天草市で高度で多様な地域医療を受けることができる環境を維持・充実させていくため、地元医師会をはじめとする関係機関との協議を行い、天草市域の地域医療ネットワークの構築を目指す。 この実現に向け、県の関係部局とも連携して、協議の場を設置したいと考える。
	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
経営形態見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度
経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	<時期> 平成22年4月1日	<内容> 市立4病院の経営形態を地方公営企業法の全部適用へ移行する。専任の事業管理者を設置し、広範な権限のもと企業性を高め独自の経営方針に基づき、経営責任を明確にすることにより経営の改革を行う。 移行時期は平成22年4月を目途とし、それまでの期間は円滑な移行のための準備期間とする。 全部適用による集中改革ののち、改革の評価と地域の医療動向を踏まえ、指定管理者制度への移行等必要な策を講じる。	
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	毎年、計画の取組状況等について自己点検を行うとともに、外部の有識者等からなる検討組織を設置して、客観性を確保した評価を実施する。 また、その内容については、ホームページ等で公表していく。	
	点検・評価の時期(毎年 月 頃等)	毎年決算後(7月～)	
その他特記事項			

(別紙)

団体名 (病院名)	熊本県天草市(栖本病院)
--------------	--------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:千円、%)

年度		19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度	24年度
収 入	1. 医 業 収 益 a	226,058	222,087	234,310	241,704	249,896	252,961
	(1) 料 金 収 入	213,929	211,717	224,531	230,904	236,396	239,461
	(2) そ の 他	12,129	10,370	9,779	10,800	13,500	13,500
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0
	(3) 病 院 局 配 賦 額	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	142,012	140,710	121,922	112,000	102,000	94,000
	(1) 他会計負担金・補助金	140,020	138,659	120,322	110,000	100,000	92,000
	(2) 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他	1,992	2,051	1,600	2,000	2,000	2,000
	経 常 収 益 (A)	368,070	362,797	356,232	353,704	351,896	346,961
支 出	1. 医 業 費 用 b	322,264	339,469	409,298	327,476	329,908	325,211
	(1) 職 員 給 与 費 c	209,792	217,000	282,800	200,000	204,000	200,000
	うち退職給与金	0	0	67,000	0	4,000	0
	(2) 材 料 費	26,909	27,800	28,000	28,300	28,300	28,300
	(3) 経 費	53,059	65,000	65,000	64,500	64,000	64,000
	(4) 減 価 償 却 費	32,169	29,387	26,312	24,716	23,648	22,951
	(5) そ の 他	335	282	300	300	300	300
	(6) 病 院 局 配 賦 額	0	0	6,886	9,660	9,660	9,660
	2. 医 業 外 費 用	27,232	25,478	25,000	23,500	22,500	21,400
	(1) 支 払 利 息	23,244	22,066	21,500	20,000	19,000	18,000
(2) そ の 他	3,988	3,412	3,500	3,500	3,500	3,400	
経 常 費 用 (B)	349,496	364,947	434,298	350,976	352,408	346,611	
経 常 損 益 (A) - (B) (C)	18,574	2,150	78,066	2,728	512	350	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C) + (F)	18,574	2,150	78,066	2,728	512	350	
累 積 欠 損 金 (G)	2,365	215	77,851	75,123	75,635	75,285	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	104,474	112,615	44,044	54,152	62,239	71,155
	流 動 負 債 (イ)	7,732	7,300	7,000	7,000	7,000	7,000
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0
差引 不 良 債 務 (オ)	96,742	105,315	37,044	47,152	55,239	64,155	
単 年 度 資 金 不 足 額 ()	32,545	8,573	68,271	10,108	8,087	8,916	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	105.3	99.4	82.0	100.8	99.9	100.1	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	42.8	47.4	15.8	19.5	22.1	25.4	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	70.1	65.4	57.2	73.8	75.7	77.8	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	92.8	97.7	120.7	82.7	81.6	79.1	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
病 床 利 用 率 ()内は結核病床を除く一般病床のみの数値	31.7(80.4)	31.7(75.9)	34.0(82.5)	35.0(85.4)	56.4(86.7)	57.5(88.8)	

()N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

「N年度 単年度資金不足額」= (「N年度の不良債務額」- 「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額 30百万円」= (「22年度不良債務額 20百万円」- 「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	熊本県天草市(栖本病院)
--------------	--------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:千円、%)

年度		19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度	24年度
収 入	1. 企業債	0	0	0	0	0	0
	2. 他会計出資金	23,173	24,328	22,230	23,004	19,575	18,580
	3. 他会計負担金	0	0	0	0	0	0
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	23,173	24,328	22,230	23,004	19,575	18,580
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
純計(a) - ((b) + (c)) (A)	23,173	24,328	22,230	23,004	19,575	18,580	
支 出	1. 建設改良費	2,467	2,300	2,000	2,000	2,000	2,000
	2. 企業債償還金	39,021	41,124	37,047	38,340	32,624	30,965
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
支出計 (B)	41,488	43,424	39,047	40,340	34,624	32,965	
差引不足額 (B) - (A) (C)	18,315	19,096	16,817	17,336	15,049	14,385	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	18,198	18,996	16,717	17,236	14,949	14,285
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	117	100	100	100	100	100
計 (D)	18,315	19,096	16,817	17,336	15,049	14,385	
補てん財源不足額 (C) - (D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E) - (F)	0	0	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度	24年度
収益的収支	() 140,020	() 138,659	() 120,322	() 110,000	() 100,000	() 92,000
資本的収支	() 23,173	() 24,328	() 22,230	() 23,004	() 19,575	() 18,580
合計	() 163,193	() 162,987	() 142,552	() 133,004	() 119,575	() 110,580

(注)

- 1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

(別紙)

団体名 (病院名)	熊本県天草市(病院局)
--------------	-------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:千円、%)

年度		19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度	24年度
区分	19年度						
	20年度						
収	1. 医 業 収 益 a	0	0	55,700	77,400	77,400	77,400
	(1) 料 金 収 入	0	0	0	0	0	0
	(2) そ の 他	0	0	16,350	22,200	22,200	22,200
	うち他会計負担金	0	0	16,350	22,200	22,200	22,200
	(3) 病 院 局 配 賦 額	0	0	39,350	55,200	55,200	55,200
	2. 医 業 外 収 益	0	0	0	0	0	0
	(1) 他会計負担金・補助金	0	0	0	0	0	0
	(2) 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他	0	0	0	0	0	0
	経 常 収 益 (A)	0	0	55,700	77,400	77,400	77,400
入	1. 医 業 費 用 b	0	0	55,700	77,400	77,400	77,400
	(1) 職 員 給 与 費 c	0	0	50,700	72,400	72,400	72,400
	うち退職給与金	0	0	0	0	0	0
	(2) 材 料 費	0	0	0	0	0	0
	(3) 経 費	0	0	5,000	5,000	5,000	5,000
	(4) 減 価 償 却 費	0	0	0	0	0	0
	(5) そ の 他	0	0	0	0	0	0
	(6) 病 院 局 配 賦 額	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 費 用	0	0	0	0	0	0
	(1) 支 払 利 息	0	0	0	0	0	0
(2) そ の 他	0	0	0	0	0	0	
経 常 費 用 (B)	0	0	55,700	77,400	77,400	77,400	
経 常 損 益 (A) - (B) (C)		0	0	0	0	0	0
特別 損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0
	特別損益 (D) - (E) (F)	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C) + (F)		0	0	0	0	0	0
累 積 欠 損 金 (G)		0	0	0	0	0	0
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	0	0	0	0	0	0
	流 動 負 債 (イ)	0	0	0	0	0	0
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源 (ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0
差引 不良債務 (オ)	{(イ)-(エ)} - {(ア)-(ウ)}	0	0	0	0	0	0
単 年 度 資 金 不 足 額 ()		0	0	0	0	0	0
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		#DIV/0!	#DIV/0!	100.0	100.0	100.0	100.0
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		#DIV/0!	#DIV/0!	0.0	0.0	0.0	0.0
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		#DIV/0!	#DIV/0!	100.0	100.0	100.0	100.0
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		#DIV/0!	#DIV/0!	91.0	93.5	93.5	93.5
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$		#DIV/0!	#DIV/0!	0.0	0.0	0.0	0.0
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病 床 利 用 率							

()N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

「N年度 単年度資金不足額」= (「N年度の不良債務額」- 「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること
例)「22年度単年度資金不足額 30百万円」= (「22年度不良債務額 20百万円」- 「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	熊本県天草市(病院局)
--------------	-------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:千円、%)

年度		19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度	24年度
収 入	1. 企 業 債	0	0	0	0	0	0
	2. 他 会 計 出 資 金	0	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	0	0	0	0	0	0
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	6. 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	7. そ の 他	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	0	0	0	0	0	0
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
純計(a) - ((b) + (c)) (A)	0	0	0	0	0	0	
支 出	1. 建 設 改 良 費	0	0	0	0	0	0
	2. 企 業 債 償 還 金	0	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0
支 出 計 (B)	0	0	0	0	0	0	
差 引 不 足 額 (B) - (A) (C)	0	0	0	0	0	0	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	0	0	0	0	0	0
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0
計 (D)	0	0	0	0	0	0	
補てん財源不足額 (C) - (D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	
実 質 財 源 不 足 額 (E) - (F)	0	0	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度	24年度
収 益 的 収 支	() 0	() 0	(16,350) 16,350	(22,200) 22,200	(22,200) 22,200	(22,202) 22,200
資 本 的 収 支	() 0	() 0	() 0	() 0	() 0	() 0
合 計	() 0	() 0	(16,350) 16,350	(22,200) 22,200	(22,200) 22,200	(22,202) 22,200

(注)

- 1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

公立病院改革プランの概要

団 体 名		熊本県天草市						
プ ラ ン の 名 称		天草市立病院改革プラン						
策 定 日		平成21年 3月23日						
対 象 期 間		平成21年度 ~ 平成24年度						
病院の現状	病 院 名	牛深市民病院、栖本病院、新和病院、河浦病院 [統括部署...病院局]						
	所 在 地	天草市牛深町、栖本町、新和町、河浦町 [病院局...天草市役所内]						
	病 床 数	359床(一般病床168床、医療療養病床127床、介護療養病床18床、結核病床46床)						
	診 療 科 目	内科、循環器科、消化器科、呼吸器科、外科、整形外科、小児科、リハビリテーション科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科						
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<p>天草市立病院は、一般医療とともに、地域において提供が必要な医療のうち、民間医療機関による提供が困難な、救急医療や不採算医療、へき地医療などの政策的な医療を行うこととする。</p> <p>今後は、天草医療圏域の他の医療機関との連携や、役割分担を検討しながら、地域のニーズに即した保健・医療活動の展開や予防医療の普及等、地域に密着した医療機関としての医療体制の充実を図るとともに、住民が安心して診療を受けられる体制を整備していく。</p>						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<p>一般会計からの繰入金は、病院事業に対する国の繰入金基準に基づくものと、複数の病院(診療所)を設置することにより病院事業を運営する本市に必要なと思われる経費の一部とし、その主な内容は以下のとおりとする。</p> <p>特殊で採算をとることが困難であるが、地域の医療水準の向上のため行政が担うべきものとして実施する医療に係る収支不足分(救急・小児・リハビリ・結核医療等)</p> <p>病院の建設改良に要する費用の一部として、企業債の元利償還に係る費用の一部(起債年度により1/2または2/3)</p> <p>病院または病院職員の研究研修に要する費用や、共済追加費用等の特定費用の一部</p> <p>市が設置する4病院3診療所の統括業務を行う病院局の人件費の一部(基準外)</p>						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備 考
	経常収支比率(%)	97.8	96.5	96.0	100.2	99.0	101.9	
	医業収支比率(%)	90.2	88.2	87.9	92.5	92.1	95.7	
	実質収益対経常費用比率(%)	82.4	81.0	80.6	84.7	84.5	87.9	
	病床利用率(%)	76.5	77.1	76.9	78.1	85.5	86.7	
	職員給与費比率(%)	72.9	72.4	71.0	67.4	68.6	65.1	
	材料費比率(%)	13.7	13.1	13.1	13.0	13.2	13.0	
上記目標数値設定の考え方		<p>医師の確保、地域の医療機関との連携等を主な取り組みとした増収策により各病院の医業収益の増加を図り、繰入金を削減したうえで、病院事業全体として経常収支比率95%以上の達成をめざす。</p> <p>職員給与費の見直しについては、平成21年度から調査・検討し、実施内容を具体化して計画数値へ反映する。</p> <p>任意項目は、医業活動の収益性を反映する指標を選択した。 (経常黒字化の目標年度:平成24年度)</p>						

					団体名 (病院名)	天草市病院事業	
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)	19年度 実績	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備 考
1日平均入院患者数(人)	274.6	276.7	276	280.5	284.8	288.8	
1日平均外来患者数(人)	546.5	533.3	536.8	551.3	553.3	554.8	
数値目標達成に向けての 具体的な取組及び実施時期 に係る計画	民間的経営手法の導入	医事業務、給食業務等の業務委託の拡充検討。 プロパー職員の採用検討。					
	事業規模・形態の見直し	平成22年度より地方公営企業法の全部適用を導入し、企業としての経済性を発揮した経営改善を推進するとともに、職員のコスト意識と経営参画意識を高め、一丸となって病院改革に取り組む。 平成22年度から24年度までの3年間は、全部適用による集中的な改革に取り組み、この総括と今後の医療環境の動向を踏まえ、本改革プランの目標達成が困難であると認められる場合には、指定管理者制度の各病院への導入等、更なる経営形態の変更に向けて取り組む。					
	経費削減・抑制対策	病院経営に適した給与体系の検討と導入(平成21年度から22年度にかけて調査・検討を行い、平成23年度からの導入を目指す)。 各種業務委託内容の点検及び見直し。 市立病院間の効果的な共同購入の実施と、在庫管理の徹底。 ジェネリック医薬品採用の検討。 診療科別損益管理の導入。 経営セミナーや院内経営会議の実施による職員のコスト意識の醸成。					
	収入増加・確保対策	地域医療支援病院をはじめ、関係医療機関との病病連携や病診連携の推進(患者紹介率の向上、平均在院日数の短縮化)。 ベッドコントロールの徹底。 医療機器の稼働状況の管理徹底と使用率向上及び総合的な整備計画の作成。 クリティカルパスの運用。 未収金対策の強化。 手術件数の増加。					
	その他	医師確保対策としては、市病院事業全体で対策本部と担当職員を配置して、以下のような取り組みを強化する。 ・県内外の大学医局への派遣要請。 ・地元出身医師等の情報収集と直接的な働きかけ。 ・ホームページ等を活用した医師・看護師への情報発信。 ・他の公的病院との連携や民間病院からの医師派遣制度の活用。 ・修学資金貸与制度の導入検討。					
各年度の収支計画		別紙1のとおり					
その他の 特記事項	病床利用率の状況	18年度	74.40%	19年度	76.50%		
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	<ul style="list-style-type: none"> 今後の医療制度改正や、市立病院間・他医療機関との機能分担・連携作業の進捗状況を踏まえながら、地域の受療動向に即した見直しを随時行う。 栖本病院の結核病床については、同じく市内で結核病床を有している天草中央総合病院の状況を見極めながら、病床数の削減・廃止または他の用途への転換などを含めて検討していく(今年度作成の収支計画は、平成23年度より一部削減すると想定したもの。) 新和病院の介護療養病床については、一般病床、医療療養病床、または他の用途への転換などを検討していく(今年度の収支計画は、平成24年度より医療療養病床へ転換すると想定したもの。) 					

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	天草医療圏内 公立病院：上天草総合病院(上天草市195床)、天草中央総合病院(天草市174床) 公的病院：苓北医師会病院(苓北町60床)、天草地域医療センター(天草市200床)		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	第5次天草地域保健医療計画 ・医療機能の分担と連携ができるような地域医療連携室の設置等の環境づくりと、住民や患者に対し適切な医療情報を提供することがそれぞれの医療機関に求められている。 ・無医地区や島しょ、へき地をかかえており、交通の便の悪い地域の日常診療、休日夜間の診療、救急患者の診療、搬送体制の整備が必要。 ・医療資源の乏しい地区の医療を公立病院が担ってきたが、公的医療機関の役割の見直しと再編が課題。 ・地域全体を見ると、慢性的な医師不足状況にあり、今後の人口減少、過疎化、高齢化の進展に備えた中・長期的な医師確保対策が必要。		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	<時期> 平成 年 月 日	<内容> 天草市地域医療ネットワークの構築 地域の公的医療機関や民間医療機関との役割・機能分担を明確化し、引き続き天草市で高度で多様な地域医療を受けることができる環境を維持・充実させていくため、地元医師会をはじめとする関係機関との協議を行い、天草市域の地域医療ネットワークの構築を目指す。 この実現に向け、県の関係部局とも連携して、協議の場を設置したいと考える。	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	<時期> 平成22年4月1日	<内容> 市立4病院の経営形態を地方公営企業法の全部適用へ移行する。専任の事業管理者を設置し、広範な権限のもと企業性を高め独自の経営方針に基づき、経営責任を明確にすることにより経営の改革を行う。 移行時期は平成22年4月を目途とし、それまでの期間は円滑な移行のための準備期間とする。 全部適用による集中改革ののち、改革の評価と地域の医療動向を踏まえ、指定管理者制度への移行等必要な策を講じる。	
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	毎年、計画の取組状況等について自己点検を行うとともに、外部の有識者等からなる検討組織を設置して、客観性を確保した評価を実施する。 また、その内容については、ホームページ等で公表していく。		
	点検・評価の時期(毎年 月 頃等)	毎年決算後(7月～)		
その他特記事項				

(別紙)

団体名 (病院名)	熊本県天草市(病院事業会計総額)
--------------	------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:千円、%)

年度		19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度	24年度
区分	19年度						
	20年度						
収	1. 医業収益 a	2,970,424	2,872,544	2,904,568	2,998,309	3,043,692	3,080,225
	(1) 料金収入	2,741,485	2,669,586	2,687,096	2,773,923	2,816,563	2,853,053
	(2) その他	228,939	202,958	217,472	224,386	227,129	227,172
	うち他会計負担金	110,516	102,282	115,419	124,000	124,000	124,000
	(3) 病院局配賦額	0	0	0	0	0	0
	2. 医業外収益	469,733	454,365	441,094	427,300	399,300	369,800
	(1) 他会計負担金・補助金	433,328	434,323	420,894	406,700	378,700	349,200
	(2) 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0
	(3) その他	36,405	20,042	20,200	20,600	20,600	20,600
	経常収益(A)	3,440,157	3,326,909	3,345,662	3,425,609	3,442,992	3,450,025
入	1. 医業費用 b	3,293,456	3,258,061	3,302,570	3,240,397	3,305,672	3,218,182
	(1) 職員給与費 c	2,164,692	2,079,755	2,063,400	2,020,300	2,088,460	2,005,460
	うち退職給与金	255,701	208,400	172,000	70,000	144,000	82,000
	(2) 材料費	406,019	375,913	379,600	390,900	401,100	401,300
	(3) 経費	414,845	538,854	571,290	549,990	539,300	539,200
	(4) 減価償却費	301,979	254,471	281,280	272,207	269,812	265,222
	(5) その他	5,921	9,068	7,000	7,000	7,000	7,000
	(6) 病院局配賦額	0	0	0	0	0	0
	2. 医業外費用	222,948	188,881	182,986	176,886	172,323	166,638
	(1) 支払利息	124,243	118,797	114,526	108,426	102,903	97,568
(2) その他	98,705	70,084	68,460	68,460	69,420	69,070	
経常費用(B)	3,516,404	3,446,942	3,485,556	3,417,283	3,477,995	3,384,820	
出	経常損益(A)-(B) (C)	76,247	120,033	139,894	8,326	35,003	65,205
特別損益	1. 特別利益(D)	0	1,956	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	1,084	1,590	1,000	800	800	800
	特別損益(D)-(E) (F)	1,084	366	1,000	800	800	800
純損益(C)+(F)	77,331	119,667	140,894	7,526	35,803	64,405	
累積欠損金(G)	18,368	138,035	278,929	271,403	307,206	242,801	
不良債務	流動資産(ア)	1,640,797	1,620,319	1,617,761	1,748,801	1,838,377	2,024,696
	流動負債(イ)	146,123	149,100	148,800	148,800	148,800	148,800
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0
不良債務差引(オ) {(イ)-(エ)} - {(ア)-(ウ)}	1,494,674	1,471,219	1,468,961	1,600,001	1,689,577	1,875,896	
単年度資金不足額(カ)	126,571	23,455	2,258	131,040	89,576	186,319	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	97.8	96.5	96.0	100.2	99.0	101.9	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	50.3	51.2	50.6	53.4	55.5	60.9	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	90.2	88.2	87.9	92.5	92.1	95.7	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	72.9	72.4	71.0	67.4	68.6	65.1	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額(H)	0	0	0	0	0	0	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0	0	0	0	0	0	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	0	0	0	0	0	0	
病床利用率	76.5	77.1	76.9	78.1	85.5	86.7	

「病院局配賦額」は、各病院から病院局への病院事業会計内の資金移動であるため、同会計全体としては、収益・費用からそれぞれ控除する。

()N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

「N年度 単年度資金不足額」= (「N年度の不良債務額」- 「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること
例)「22年度単年度資金不足額 30百万円」= (「22年度不良債務額 20百万円」- 「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	熊本県天草市(病院事業会計総額)
--------------	------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:千円、%)

年度		19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度	24年度
収 入	1. 企 業 債	0	166,500	0	0	15,000	11,700
	2. 他 会 計 出 資 金	160,869	163,601	175,177	171,162	169,358	170,049
	3. 他 会 計 負 担 金	0	0	0	0	0	0
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	2,633	13,107	0	0	5,200	3,600
	6. 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	7. そ の 他	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	163,502	343,208	175,177	171,162	189,558	185,349
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
純計(a) - {(b) + (c)} (A)	163,502	343,208	175,177	171,162	189,558	185,349	
支 出	1. 建 設 改 良 費	32,053	246,469	47,000	52,000	67,000	62,000
	2. 企 業 債 償 還 金	245,565	252,021	271,121	267,855	266,991	266,657
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0
支 出 計 (B)	277,618	498,490	318,121	319,855	333,991	328,657	
差 引 不 足 額 (B) - (A) (C)	114,116	155,282	142,944	148,693	144,433	143,308	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	112,590	143,350	140,753	146,264	141,290	140,410
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	1,526	11,932	2,191	2,429	3,143	2,898
計 (D)	114,116	155,282	142,944	148,693	144,433	143,308	
補てん財源不足額 (C) - (D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	
実 質 財 源 不 足 額 (E) - (F)	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度	24年度
収 益 的 収 支	(148) 543,844	(15,058) 536,605	(23,415) 536,313	(22,200) 530,700	(22,200) 502,700	(22,200) 473,200
資 本 的 収 支	(2,633) 163,502	(13,107) 176,708	() 175,177	() 171,162	(5,200) 174,558	(3,600) 173,649
合 計	(2,781) 707,346	(28,165) 713,313	(23,415) 711,490	(22,200) 701,862	(27,400) 677,258	(25,800) 646,849

*基準外繰入金は、病院局職員給与費に係る一般会計繰入金、牛深市民病院における不採算医療(地域にない診療科の運営)に係る一般会計繰入金及び 国保直診施設(新和・河浦病院)における医療機器整備事業への国保調整交付金を、国保特別会計より繰入れるものである。

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。